



[医療法人溪仁会 西円山病院 広報誌]

にしまるやま通信

NISHIMARUYAMA TOSHIN JIS (MARI) MA CHI NI HIRAJI MA TSU NI WAKAYAMA TOSHIN



NO.19 2003年
2月発行



● 目からウロコ!! 知って得する「リハビリテーション」

●理学療法とは ●言語聴覚療法とは ●作業療法とは

● 舞踊教室のご紹介

*** 西円山病院 外来のご案内 ***

■診療科目	内科・リハビリテーション科・神経内科・歯科
■診療	午前9:00~12:00 午後2:00~4:00
■休診	土曜日・日曜日・祝日



からウロコ!!!

知って得する「リハビリテーション」

今回は西円山病院リハビリテーションについて御紹介いたします。



理学療法とは

身体に障害をもつ患者様に対し、その基本動作能力(座ったり、立ったり、歩いたり)の回復や維持、及び寝たきり状態を予防する為、当院では「運動療法」や「日常生活動作訓練」を中心にリハビリ訓練を行っています。さて、「運動療法」と聞いて皆さんは何を連想されますか？リハビリテーション以上に聞きなれない言葉だと思います。「運動療法」とは、病気や怪我によって体が動かしにくくなった(関節が動かない・力がでない・転びやすい)ことに対して、寝返り・起き上がり・立ち上がり・歩行などの運動と様々な手技・道具を用いて筋力増強や関節の運動を行うリハビリテーションのことです。しかし、運動療法をすれば、体の動かしにくさがすべて治ると言うわけではありません。その為、運動療法他に、

- 排泄・更衣・入浴といった日常生活活動にあわせた訓練
- 義手・義足や装具、車椅子、杖などの補装具の選定
- 障害に合わせた家屋改造のアドバイスなどを併用して行っています。

リハビリ訓練室以外にも患者様が使い慣れた病室や廊下等で訓練を行うこともあります。現在15名の理学療法士が、リハビリを必要とする患者様お1人お1人とリハビリ目標を確認しながら、持てる能力を最大限にいかして住み慣れた場所で生活できる様サポートしています。



言語聴覚療法とは

主にコミュニケーションに必要な「話すこと」や「聞くこと」そして、生命を維持していく上で必要な「食べること」に関する機能や能力のさまざまな問題(障害)に対して専門的な立場から、機能維持・向上を目的として評価・訓練・指導を行うことです。

例えば・・・

*「話す」「書く」「聞く」「読む」といった機能が失われたり低下し、「言いたい言葉が出てこない」などの状態になる失語症や、口唇、顎、舌、頬などが麻痺してうまく動かせない為に、聞き手には、「何をしゃべっているのか分からない」状態となる構音障害患者様には・・・舌や口唇を動かすような運動訓練や発声訓練を行います。その他にも、様々な話題を提供して自由に会話を楽しみ発語を引き出すような訓練や音楽を通して言葉を引き出すような訓練等様々な手段を用い実施しています。

*食べるものがうまく噛めない、飲み込めないなど、うまく食べることが出来ない嚥下障害の患者様には・・・水飲みテストや食事の観察を通して評価し、食事の注意点や姿勢、食事形態などのアドバイスをしたり、嚥下器官に対して運動訓練や直接食べ物を使用した訓練などを実施しています。

現在7名の言語聴覚士が、ご家族に訓練を直接見学して頂いたり、患者様やご家族に資料を手渡ししてコミュニケーションや安全な食べ方のコツをアドバイスしています。当院外来やデイケアでも訓練を行っていますので、お気軽にご相談ください。



左から 言語療法科 高橋主任 理学療法科 曲木科長 作業療法科 伊藤科長



作業療法とは

当院には総勢26名の作業療法(OT)スタッフが勤務しています。OTは主に患者様が車椅子に移る事や服を着る事、食事をする事などといった日常生活動作に対する訓練、痴呆によって起こる不穏行動や意思疎通の障害に対する訓練などを行っています。もちろんその為には関節を動かしたり、筋力を強化したり、バランス能力を向上したりする事は欠かせません。しかし、高齢者になると苦しい訓練をスパルタ的に行うことは肉体的、精神的苦痛を伴う為、余り無理を強いる事はできません。作業療法では、患者様の意欲を高め、訓練を行えたという達成感を感じられるようゲームなどの遊びを用いたり、家族的

な雰囲気の中で関わりを持ったりと訓練方法に工夫しています。そのような活動を通じて、訓練に夢中になっている間に知らず知らず筋力や体力がついてきます。もともとOTの語源はOccupational Therapyで「夢中にさせる訓練」という意味なので、患者様が主体的に楽しみながら訓練ができることを大切にしています。また、患者様の在宅復帰もOTの目指す目標のひとつです。手に麻痺がある方は、片手でどうやったら上手く食事ができるのか？住宅改修の部分では手すりをどのように取り付けたらよいのか？など在宅で安心して暮らしていけるように、ご家族と一緒に考え不安を取り除けるように常にサポートできる体制を整えています。

積極的にオリジナル自助具などの開発にも取り組んでいます。箸を持ちやすくする自助具や車椅子にセッティングする食事用テーブルなどがそうです。介助方法や在宅・療養生活の面などで分からない事がありましたら、お気軽にご相談下さい。



ザ・シルバー教室
(第2回)

舞踊教室紹介

舞踊教室では、西川流の長沢先生をはじめ14名のボランティアによって活動しています。隔週の月曜日に活動し、参加者は毎回約20~30名です。まず、最初にボランティアと患者様数名にて輪踊りを2曲程行います。その後長沢先生やお弟子さんより踊りを5~6曲披露して頂いています。選曲も民謡から歌謡曲まで様々であり歌謡曲においては、「黒田節」「好きになった人」等患者様がよく知っている曲も多く口ずさみながら楽しんでいきます。



編集後記

周りでは、今インフルエンザが大流行中。風邪などひいてませんか？昔、寒湯治が、「小寒・大寒の湯はよく効く」といわれていたそうですが、その言葉にあやかって、湯治とまではいなくても、自然の恵みを受けに温泉にゆったり浸かりエネルギー補給したいと思う今日このごろです。祖母と一緒に出かけようと企画中。皆さんも、この寒い時期を温泉に浸かって乗り切りませんか。
(S. G.)

* すべてのお問い合わせは *

郵便 〒064-8557
札幌市中央区円山西町4丁目7-25
西円山病院 医療福祉課内
広報誌「にしまるやま通信」
編集事務局

電話 (011) 644-1380
FAX (011) 642-4347

お気軽に
お問い合わせ
下さい！

● 無料送迎バスのご案内 ● (平成14年12月現在)

	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時
地下鉄駅発	55	35	15	10		10	30		※00 ※40	※50	※30	※10 ※50	※30	※35
西円山病院発		15	50	30	10		10	40	20	30	10	30	05	25
		55			50						50			

※のバスは地下鉄円山公園駅⑤番出口出発、その他はすべて①番出口となります。
H14年12月1日よりダイヤが変更となります。